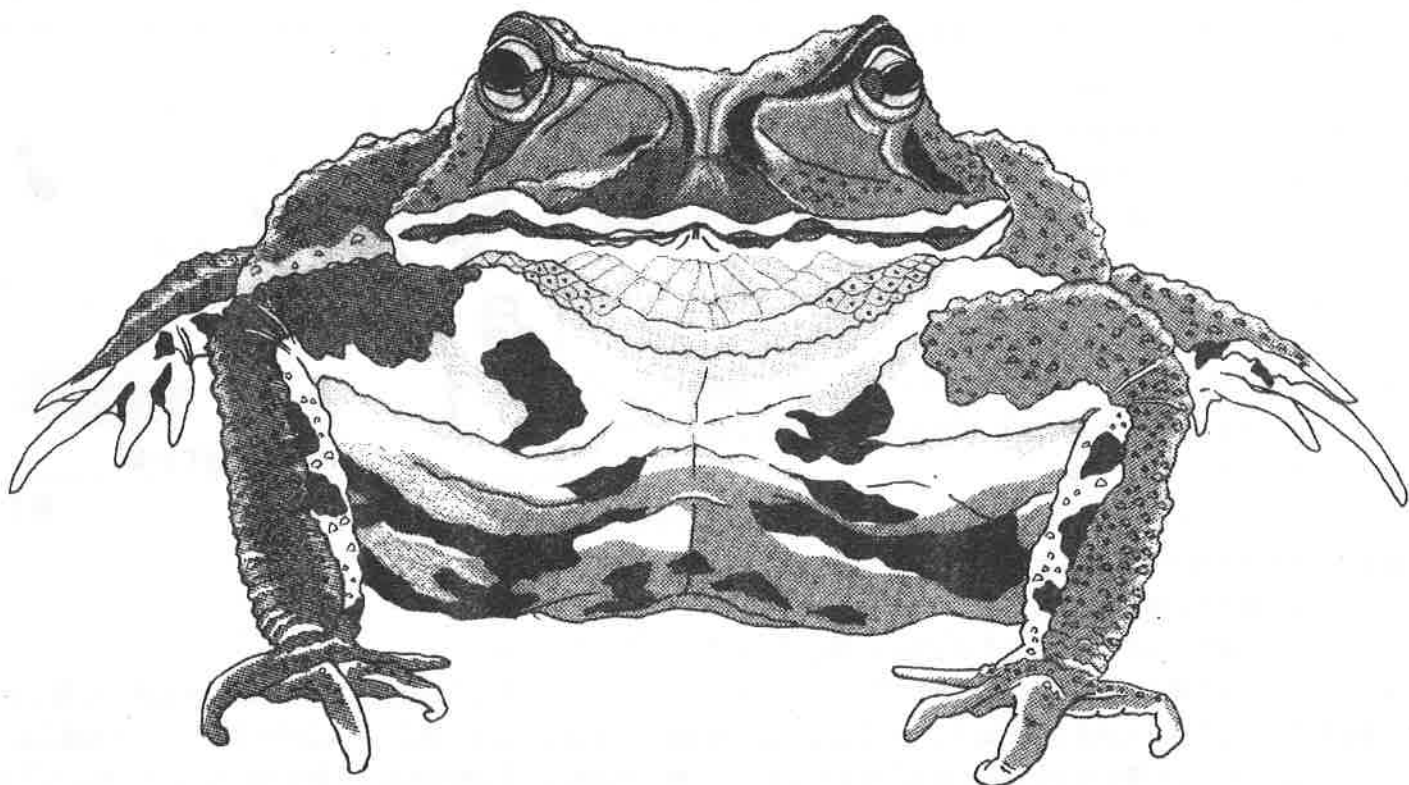


楓 通 信 . 9 8



アスマヒキガエル

卵とおたまじゃくしは止水域（水の流れが無い場所）で見られ、奥日光では戦場ヶ原や光徳沼で観察できる。成体（カエル）になると森の中を歩き回り、主に昆虫を食べる。奥日光でも、夏の森を歩いているとよく出くわす。5月上旬のガマ合戦（繁殖のため鳴きあったり、オスがメスに群がる行動）で、奥日光の遅い春の訪れを私たちに知らせてくれる。



日光湯元ビジターセンター
奥日光の情報誌 No. 98

2012.3.31

年6回発行・一部100円
年間購読料1000円（送料込）

年間購読のお申し込みは、氏名・住所・電話番号を明記の上、郵便振替にて自然公園財団宛に購読料をお支払いください。
（年途中からでもどうぞ!） 振替 No.00370-3-7232

NIKKO NATIONAL PARK

一般財団法人 自然公園財団 日光支部

〒321-1662 栃木県日光市湯元 日光湯元ビジターセンター内
TEL 0288-62-2321 FAX 0288-62-2378

<http://www.bes.or.jp/nikko/vc/>

インタビューシリーズ第2弾！！

この初夏、話題のエゾハルゼミさんに独占インタビュー



注意！！以下の文章はあくまでインタビュー形式にしてあるだけであり、取材者とエゾハルゼミさんは架空の人物です。
しかし、昆虫としてのエゾハルゼミは実在する生き物ですので、ご注意下さい。

取材者（以下I）：今回は初夏の奥日光に響く鳴き声の主、エゾハルゼミさんにインタビューしたいと思います。

エゾハルゼミ（以下E）：皆さん、こんにちは。初インタビューなんで緊張していますが、よろしくお願いします。

I：そんなに緊張しなくても大丈夫ですよ。では始めに簡単な自己紹介をお願いします。

E：はい。僕はですね、エゾハルゼミと呼ばれています。カメムシ目のセミ科の一種で5月下旬から7月にかけて奥日光で鳴いています。主に冷涼な地域のミズナラ林などの落葉広葉樹林に生息していますね。

I：カメムシの仲間だったとは驚きです。名前に「エゾ」とついていますが、北海道（昔は蝦夷）との関連性があるのですか？

E：はい。北海道では多くの地域に生息していますから。でも、北海道以外にも分布はしています。名前の通りエゾ（北海道）にしかないセミでは無いんです（笑）。

I：そうですね。セミと言うと夏のイメージが強いですが5月下旬からとは早いんですね。

E：確かにそうですね。セミの中では早い方ですね。僕は森林に生息するセミですから、ブナやミズナラが新緑になる5月下旬頃、成虫になります。だから、夏が来る前から鳴いていますね。

I：5月にセミってイメージしづらいですね（笑）。実際の鳴き声はどんな感じなのですか？

E：特徴的な鳴き声で鳴きます。「ミョーキン・ミョーキン・ケケケケ…」ってな具合ですね。※1
よくカエルの鳴き声に似ているといわれています。

I：カエルですか。確かに似ているかもしれませんね。鳴く方法はこういったものですか？

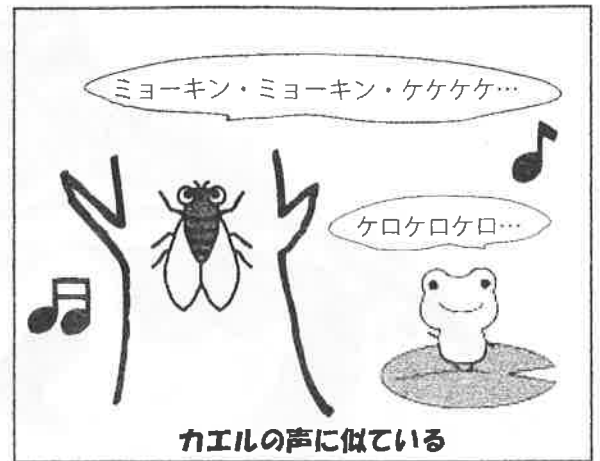
E：僕たちセミは、人や鳥のように口から音を出している訳では無いんです。おなかにある特別な膜（背板の内側にある膜）を震わせて鳴きます。小さな体から大きな音を出すことができるのは、おなかの中がほとんど空っぽで、チェロやバイオリンの共鳴室のように、おなかの中に音を響かせる仕組みがあるためなんです。※2 鳴くのは雄だけで、雌を呼んで子孫を残す為に必死に歌うんです。

I：楽器と同じ仕組みだったんですね。知りませんでした。綺麗な音色で奥さん探しとはロマンチックですね。ただセミと言うと成虫は1週間の命という儚いイメージがありますが。

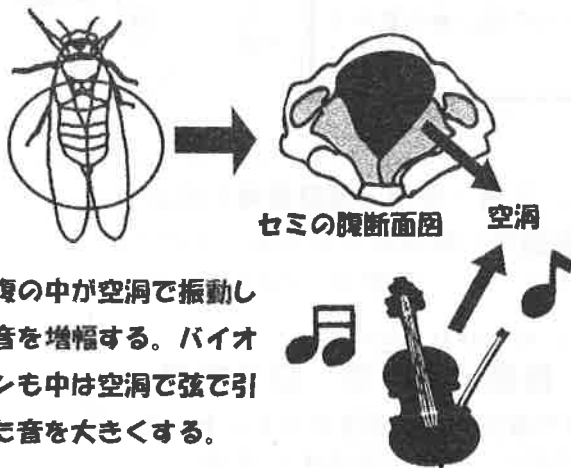
E：捕まえたセミはすぐに死んでしまいますが、飼育が困難なだけで、野外では1ヵ月くらいは生きることができます。

I：そうなんですか。セミは身近な生き物ですが、知らない事が沢山あるんですね。今回は色々お答え頂きありがとうございました。

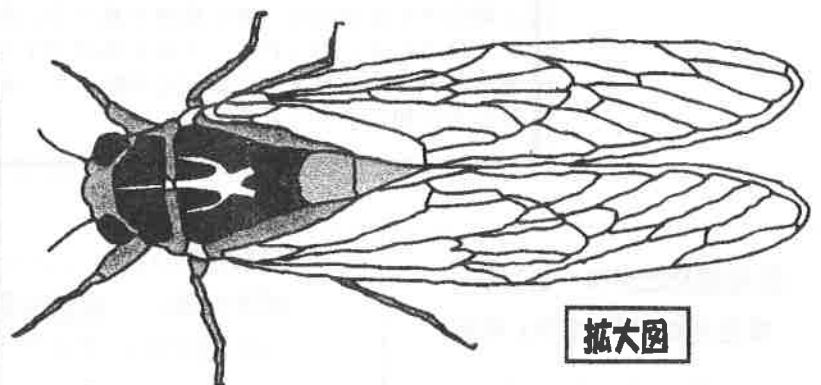
E：いえいえこちらこそ、ありがとうございました。



※1



※2



拡大図

基本情報：エゾハルゼミ / セミ科ハルゼミ属 / 体長はオス 33mm 前後
メス 24mm 前後。体色は全体的に黄褐色、頭部・胸部は緑色を帯び、
黒い線や斑紋の模様がある。/ 5月下旬から7月にかけてミズナラ林
などの落葉広葉樹林で見られる。/ 特徴的な鳴き声で鳴く。

奥日光と「さかな」

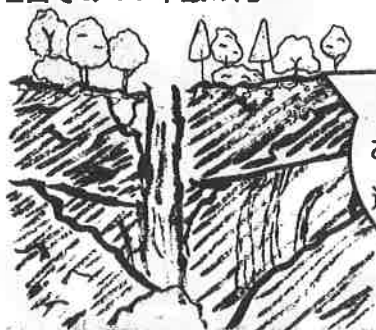
出会い～釣り編

奥日光【さかな】物語その1…魚が住んでいなかった奥日光

奥日光には以前、魚類はまったく生息していなかったといわれています。

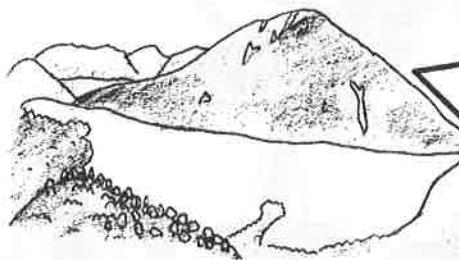
その理由として以下の2つの原因があげられています。

理由その1：華嚴の滝



落差が 100m (当時)
ある華嚴の滝が魚の
遡上を阻んでいました。

理由その2：霊峰 男体山



神聖な山として崇めら
れており、女性や牛馬の
入山や殺生が禁止されて
いたため、魚の放流も禁
止されていました。

さかなって水のある
所には居そうな
イメージだけど…



奥日光【さかな】物語その2…奥日光と魚の出会い

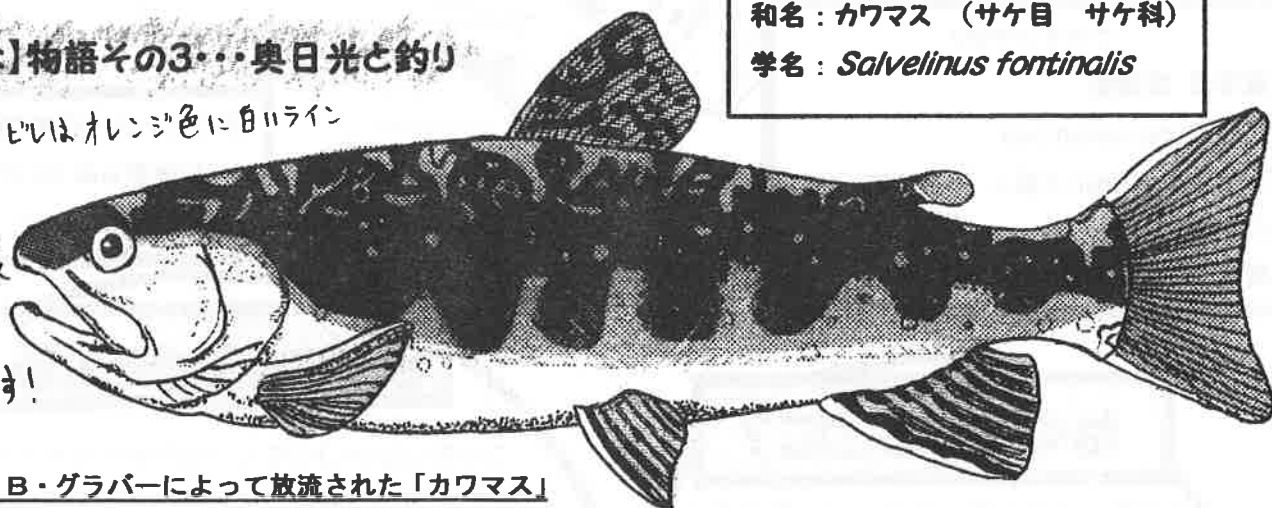
明治5年になると男体山は女人解禁となりました。明治6年には魚類の放流も許されるようになり、いろは坂下の細尾という所に住んでいる星野定五郎によって、イワナが中禅寺湖に放流されたことにより、初めて奥日光に魚が住みつくようになりました。

奥日光【さかな】物語その3…奥日光と釣り

- ・胸ビレ、腹ビレ、尻ビレはオレンジ色に白ライン
 - ・赤や黄色の斑点
 - ・背中に黒い縞模様
- アメリカ原産の
カッコ良い魚です！

和名：カワマス（サケ目 サケ科）

学名：Salvelinus fontinalis



トーマス・B・グラバーによって放流された「カワマス」

フライフィッシングとマス釣りの聖地とされている奥日光。その歴史は古く、今から110年前の1902年（明治35年）まで遡ります。当時、国際的な避暑地として知られていた中禅寺湖に訪れた、トーマス・B・グラバーという人物がいました。彼が老後に別荘を構えた場所が中禅寺湖でした。湖やその周辺の河川が彼の故郷、スコットランドの風景に似ていたこともあり、望郷の想いとともにフライフィッシングに興じていたそうです。しかし当時は放流されていたが魚の少なかった奥日光。そこで彼は英国領事館員のハロルド・パーレットとともにアメリカのコロラド州からフライフィッシングを行う人に人気のカワマス（ブルックトラウト）の卵を取り寄せ、戦場ヶ原を流れる湯川に放流しました。この様な歴史があり奥日光はフライフィッシングとマス釣りの聖地となったのです。

奥日光の釣り情報は

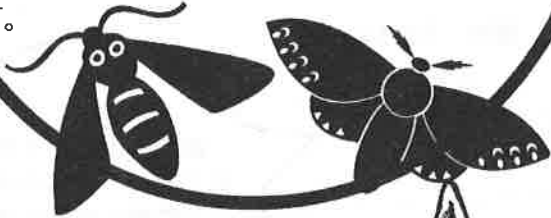
「全国内水面漁業協同組合連合会 日光支所」まで

TEL：0288-55-0702



食いしん坊コウモリ

日本に住むコウモリの食事は主に昆虫です。効率よく採食するために飛翔昆虫がもっとも多く出現する日没後の数時間に活発に採食活動を行い、時期や性別によって大きく異なりますが、体重の1/3~2/3程度、多い時には自分の体重と同じ量を食べています。



空飛ぶ哺乳類

コウモリは母乳を与えて育てるため、哺乳類に属します。日本の哺乳類は約100種。日本で暮らすコウモリは33種なので、日本の哺乳類の約1/3はコウモリです。また、翼は皮膜のため少々破けても再生することが出来ます。

一人のお母さんに一人の赤ちゃんだよ



コウモリの生態

ウサギコウモリ

漢字名: 兔蝙蝠

英名 Long-eared bat

耳は38~40mmと長く、伸縮自在、名前の由来となった。

奥日光にも生息しているコウモリ。

休憩するとき
は逆さま!

主に夜、行動
しているよ

頭の先からしっぽまで約10cm
さらに体重も約10グラムと
とっても軽くて小さい。

ねぐらはどこに?

コウモリは昼と夜、別のねぐらを必要とします。家屋の中や洞窟・岩の割れ目を利用している場合もありますが、植物の樹洞やめくれた樹皮の裏もよく利用されています。植物に頼ったねぐらは環境が変わりやすく、頻繁にねぐらを変える必要があるようです。

夜のねぐらを
ナイトルーストっ
て呼んでいるよ



超音波を聴きとれる!

コウモリは大コウモリ(オガサワラオコウモリなど)と小コウモリ(ウサギコウモリなど)の2種類に大きく分けることが出来ます。大コウモリは、目を見たものを頼りにしているため目が大きく小コウモリにくらべ耳が小さいです。小コウモリは、口や鼻から超音波を発し物にぶつかって跳ね返ってきた超音波の反響音を大きな耳で聴きとり、障害物をよけたり食料にありついたりしています。小コウモリは超音波のおかげで夜の暗闇の中でも自由に行動ができるようになりました。

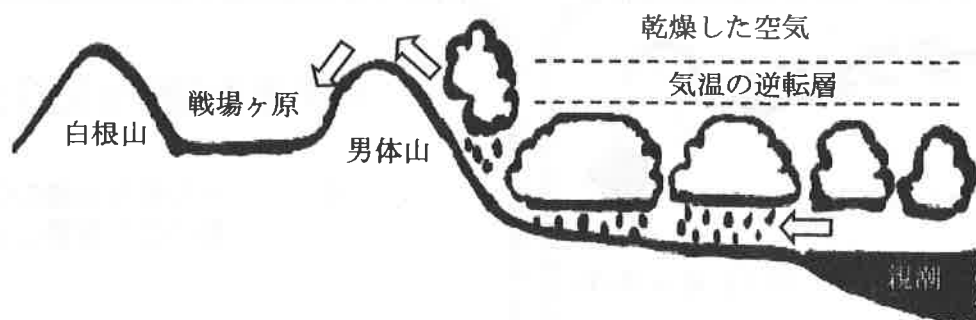
小コウモリも
目は少しな
ら見えるよ



■ 奥日光には梅雨がない？

「奥日光には梅雨がない」とよく言われますが本当でしょうか。

雨が降りしきるいろは坂を登り、菖蒲ヶ浜にさしかかると雨が止んで雲の合間に青空がのぞく。さらに戦場ヶ原まで来ると、快晴！こんな経験をされた方も多いと思います。このような現象はどうして起こるのでしょうか。

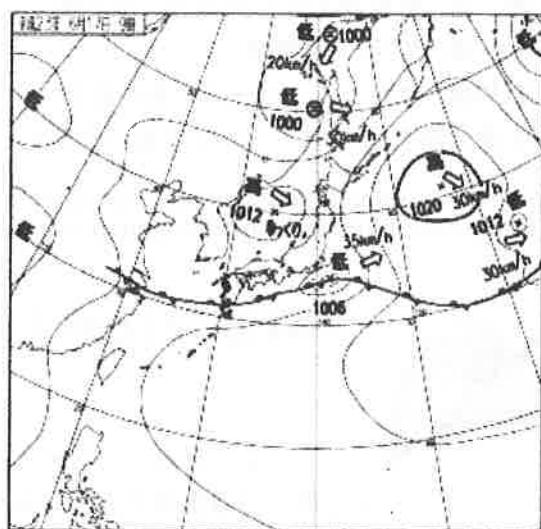


この気象のパターンは、北東気流が関東平野に流れ込むときに現れます。関東地方の東は太平洋で、冷たい親潮が流れています。この冷たい海の上を北東の風が吹いてくると、空気は冷やされ、たっぷり水蒸気を含んで雲が発生します。関東平野は曇り空となって、小雨

が降ることもあります。しかし、上空の空気は乾燥しており、気温の逆転層があることが多く、雲はこの逆転層を突き抜けて発達することができないので、高さは低く抑えられます。このような低い雲は日光連山を越えることができません。さらに山を越えた風は下降気流となり雲は消えてしまいます。というわけで奥日光は晴れます。

それでは、北東気流はどのようなときに吹くのでしょうか。

右の天気図は昨年6月17日のものです。関東地方の南に低気圧があり、この低気圧に向かって北東気流が流れ込みました。この日の天気は、宇都宮は曇り一時雨となっていました。一方、ビジターセンターの業務日誌を見ると、湯元は曇り後晴れでした。宇都宮はあまり良いお天気ではなかったのですが、奥日光では好天だったのです。このような日に奥日光を訪れると、思いがけない青空の下で、初夏の瑞々しい自然を思う存分楽しむことができます。下界のお天気が悪いと入山も少なくなり、空いているというメリットもあるかも。



朝、雨が降っていても奥日光は晴れているかもしれません。あきらめしないで、ぜひビジターセンターにお天気をお問い合わせください。

「晴れてますよ！」という元気のいい返事を期待してください。

なお、このような現象は梅雨の初期に発生することが多く、梅雨も本格的になると、上空まで湿った空気が入ってくるので、奥日光でも雨になります。「奥日光には梅雨がない」と言い切るのは、ちょっと無理があると思います。

■2011年の平均気温・湯元

	5月	6月
最高気温	19.1℃	21.8℃
最低気温	5.3℃	11.3℃

※自然公園財団日光支部公園班の

■2012年日の出入り（宇都宮）

	5/1	6/1
日の出	4:47	4:24
日の入	18:29	18:53

※国立天文台ホームページより

■天文情報

	5月	6月
満月	6日	4日
新月	21日	20日

5/6 みずがめ座η流星群が極大

※日本流星研究会ホームページより

記録より



特 天文情報 932年ぶりの金環日食が見られます！ 5月21日（月）

日本の広い範囲で見られるのは何と932年ぶりです。奥日光でも全域で見ることができます。

食の始め	中心食の始め	食の最大	中心食の終わり	食の終わり
6:21	7:35	7:36	7:37	9:04

国立天文台ホームページ上で、湯元の緯度・経度・標高をもとに計算

日光湯元ビジターセンター 2012年 5月・6月の催し



ゴールデンウィークフェスタ



カンタン♪缶ドルランタン作り

日時：5月3日(木)～6日(日) 各回9:30～11:30 13:30～16:00
集合：日光湯元ビジターセンター館内
材料費：ひとつ ¥200

おはよう！ぶらり大発見！！

日時：5月3日(木)～6日(日) 各回6:30～7:30
集合：日光湯元ビジターセンター前
人数：30名(先着順)
参加費：無料 コース：湯元周辺
※湯ノ湖を回るイベントではありません

事前予約
不要!!



☆緑あふれる刈込湖へ☆



すがすがしい空気の中
少し厳しい道を皆で歩いてみませんか？

日時：6月16日(土) 9:30～15:00 (9:00 受付開始)
集合：日光湯元ビジターセンター
人数：15名(小学4年生以上／先着順／小・中学生は保護者同伴)
参加費：大人¥1,000 小・中学生¥500
コース：日光湯元ビジターセンター～刈込湖までの往復

☆中禅寺湖ゆったりツツジハイク☆

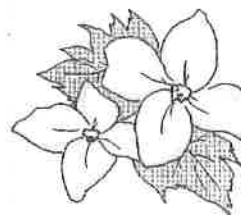
色とりどりの花と新緑の中をゆっくり歩き、
春の訪れを感じてみよう。

日時：5月19日(土) 9:30～15:30 (9:00 受付開始)
集合：立木観音前 歌ヶ浜無料駐車場
人数：15名(先着順／小・中学生は保護者同伴)
参加費：大人¥1,000 小・中学生¥500
コース：歌ヶ浜～イタリア大使館別荘～阿世湯の往復



☆白根山花紀行☆

～シラネアオイを探しに～



初夏になると綺麗な花を咲かせるシラネアオイ。
そんなシラネアオイを見つけに今年の初夏は白根山へ行こう！

日時：6月30日(土) 7:30～15:30 (7:00 受付開始)
集合：日光湯元ビジターセンター
人数：12名(小学5年生以上／先着順／小・中学生は保護者同伴)
参加費：大人¥1,000 小・中学生¥500
コース：ビジターセンター…(車)…菅沼登山口～(徒歩)～
五色沼往復

5月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3 おはよう！ ぶらり大発見！ 缶ドルランタン	4 おはよう！ ぶらり大発見！ 缶ドルランタン	5 おはよう！ ぶらり大発見！ 缶ドルランタン
6 おはよう！ ぶらり大発見！ 缶ドルランタン	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19 ☆中禅寺湖 ツツジハイク
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

6月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16 ☆緑あふれる 刈込湖へ
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30 ☆白根山 花紀行

タイトルに☆印あるのイベントは、
2012/4/14(土)より受付開始です。

定員になり次第、締切ります。また、実施日の1週間前に受付終了となります。
その時点で最低催行人数5名に達しない場合は、中止となる場合がございます。
ただし、申込み締切り日以降でも、定員に達していない場合は受付しておりますので、お問合せください。

開館時間

5・6月

9:00～16:30

(財)自然公園財団 日光支部
環境省 日光湯元ビジターセンター

〒321-1662 栃木県日光市湯元
TEL 0288-62-2321 FAX 0288-62-2378
<http://www.bes.or.jp/nikko/vc/>

■イベント報告

【やってみようスノーシュー】

開催日	1/28	2/4	2/11	2/17	2/25
参加者数	17名	13名	13名	6名	14名

普通の靴で歩くとズボズボ埋まってしまう雪道も、スノーシューがあれば冬のフィールドが楽しめる！今回はスノーシューを履くのが初めての方、そして自分でスノーシューをお持ちの方…様々な方々が奥日光の冬のフィールドに集結して下さいました。

スノーシューを履く前と履いた後を比べて、初めてスノーシューを履いて雪の中を歩いた方からは「こんな便利なものがあるのね！」という声も。ただ歩くだけではなく、飛んだり、跳ねたり、走ったり、そして雪の中に飛び込んだり、埋まってみたり…戻る頃には皆さん思い思いの楽しみ方を見つけて下さった様子でした。

ぜひまた奥日光のフィールドで「冬」を楽しみましょうね！

モリアオガエル



【あなたが作る雪灯里with 缶ドルランタン】

ゆきあかり
～雪灯里ミニかまくら作り～

開催日	1/29	1/30	1/31	2/1	2/2
参加者数	13名	1名	中止	3名	中止



カジカガエル

「奥日光湯元温泉雪まつり」の催しのひとつ「雪灯里」。会場に並ぶ約1,000個の小さなかまくらは全て、毎年湯元地域の方の手作り。今回は、そのかまくら作りにお客様も参加して作って頂くという初のイベント。

専用の筒に雪を詰め込み、固めて、筒を外し、穴を掘って、形を整えるの繰り返し。参加者の方も「寒い中、毎年全部手作りで大変だったんですね」と苦労を体感。参加者と地域の皆さんが交流されている姿が、とても楽しそうでした。一汗かいた後は、奥日光高原ホテルさんの御厚意で無料の昼食と日帰り入浴♪

皆さんが手伝って下さったおかげで無事雪灯里ができ、湯元地域の方々も大変感謝されていました。参加者の皆様ありがとうございました！

～願かけ缶ドルランタン作り～

開催日	2/3	2/4	2/10	2/11	2/17	2/18	2/24	2/25
参加者数	5名	11名	4名	18名	2名	11名	4名	8名

今回はいつもと一味違う缶ドルランタン作り、ただ作って持って帰るだけではありません。

雪灯里会場の一画に缶ドルランタンコーナーが設けられ、お客様のランタンを作品として飾り、同時に願いを書いた絵馬を飾りました。ランタンはその会場に一夜点灯。会場に備えられた様々な色に変化するLEDライトとはまた違うろうそくの暖かい優しい灯りが、缶ドルの可愛らしいイラストを浮き上がらせ、会場に彩りを加えていました。参加者の方々は自分で作ったランタンを眺めたり、写真に撮ったり、うっとり…。参加者以外のお客様は「ここに可愛らしいコーナーがあるよ！」と仰ってくださいました。絵馬は日光二荒山神社にてお焚き上げして頂く予定です。皆様の願いが叶いますように！

【スノーシューで蓼ノ湖】

1月29日(日) 参加者13名

冬にしか行けない蓼ノ湖。今回はそんな季節限定の場所へと、スノーシューを履いて行ってきました。

当日は強風が吹いていて、無事、蓼ノ湖に着けるか不安でしたが、参加者の皆さんは強風なんて、どこ吹く風と言わんばかりに歩ききりました。途中、フワフワの雪でソリ滑りをしたり、チームで協力して雪のタワーを作ったりと元気全開で、大人も子どもも遊んでいました。

最後に皆で雪上リレーをやりましたが、皆さんもう必死に走り、楽しんでいました。参加者の皆さんが無事帰れた事が一番嬉しい事です。今回イベントに参加頂きました皆さん、本当にありがとうございました。

【がむしゃら雪あそびwith ソリ】

2月12日(日) 参加者13名

今年も開催。がむしゃら雪あそびwith そり！そりを使ってジャンケンをしたり、ボールを運んだり、ボウリングをしたり、こんなにそりで遊ぶイベントが他にあるのでしょうか？

今年は、カチカチの滑りやすい雪の上にサラサラのパウダースノーが乗っかり、そり滑りには最高のコンディション。滑って！滑って！！滑りまくる！！遊び疲れてお腹がすいたら、このイベントでお世話になっている森のホテルさんで昼食&休憩♪

今年はオリンピックイヤーということもあり、『ソリンピック』と称して2チームに分かれ対決。金メダルを争い、白熱した戦いが行われました☆とにかく「がむしゃら」になって遊んだ皆さん、メダル授与式では最高の笑顔が見られました♪また来年も一緒に遊びましょう！

【冬の大冒険！めざせ刈込湖！！ since1997】

2月27日(日) 参加者21名

毎年恒例の刈込湖イベント、朝の気温は-10度。寒い中ではありましたが、皆さんしっかり準備万端でお越しくださいました。気合も充分！「いってきま〜す」という元気な声でビジターセンターを出発。

途中、前が見えなくなるほどの風雪にも遭いましたが、森を抜けると、ついに真っ白な刈込湖が！参加者の皆さんから「今年も来れた！」「きれい！」「来てよかった」とのありがたいお言葉…。長距離を歩けるか不安に感じていらっしゃった方もおいででしたが、無事に全員で刈込湖に着くことが出来ました。

当日は、参加者の方が一生懸命楽しもうとしている姿が印象的でした。この日を楽しみにしてくださっていたんだと強く感じ、感謝の気持ちでいっぱいです。また、刈込湖はすごい場所だなと感じました。奥日光の最奥にある、人を魅了してならない場所。人を引き付ける刈込湖が変わらずあり続けることを願うばかりです。

【アニマル・トラッキング〜白銀の世界で動物探偵になろう！〜】

3月3日(土) 参加者7名

冬眠する生きもの、冬も活動する生きもの…様々な動物達が奥日光の森の中に住んでいます。今回はそんな生きもの達の生活を探るため、少し森の中へお邪魔してきました。

足跡や食痕、爪跡…生きもの達が残した跡から考えられる行動は様々。歩いている途中では、残されたリスの足跡の先に木の皮をかじっている本物のリスが！アニマル・トラッキングの醍醐味を感じずにはいられませんでした。最終的には生きものが残した跡から「あっちの方向に歩いていったのかな？」「これはあの動物の跡かな？」と皆さん推理出来るように！私達が普段通りすぎてしまうような場所でも、よく目をこらしてみると生きもの達が生きている「証」がたくさん。生きもの達は厳しい寒さの冬の中でも生きている、と実感した日でした。また、奥日光に生きもの達が生きた「証」を見つけに来て下さいね。

【やってみよう！輪かんじき】

3月3日(土) 参加者2名

参加者は、千葉県から来られた60代のとても仲の良いご夫婦だけ。ガイドもまた60代。参加者とガイドの距離感が全然ないイベントとなりました。

今やスノーシューの人气が急上昇し、日本古来の輪かんじきは見向きもされない時代となりました。そこをあえて輪かんじきを履いて深雪の中を歩いてみよう、という試みでした。新雪にふわっと沈む浮遊感は、ご夫婦にとっても気に入っていただけたようです。ガイド自身も、輪かんじきの威力を見直してしまいました。

樹木や水鳥を観察しながら湯ノ湖畔を歩き、雪を掘って密度を測り、深いところほど雪が重いことを“発見”しました。ビジターセンターに戻ってからは、スタッフが準備した熱いココアをすすりながら、クロスワードのクイズで今日観察した樹木や野鳥のおさらい。

お天気にも恵まれた半日コースのお手軽イベントとなりました。またのお越しをお待ちしています。

■ニュース

【奥日光湯元温泉雪まつり2012 終了】

昨年12月より3月末まで、奥日光湯元温泉街で雪まつりが開催されました。

氷の彫刻と雪灯里の灯りは、昨年までロウソクやライト等ひとつの色で灯していましたが、今年度からのLED電球の導入によって、紫や青、そして赤…など様々な色が湯元の夜を飾るようになりました。氷の彫刻会場の雪のトンネルには電飾アーチが灯され、思わず「綺麗」と声を出す方、カメラのシャッターを切る方、幻想的な雰囲気のにめり込む方も。湯ノ湖畔の花火大会では、何百人ものお客様が湯元へお越しになり、雪降る中、夜空に咲く花火をご覧になっていました。普段は静かな湯元の夜が、たくさんの人や灯りで賑やかになりました。第11回目となる雪上探検ツアーでは、当日晴れやかな天候が広がり冬のフィールドを楽しんだ皆さんの表情も天候に負けない位「気持ちよかった!」と晴れやかに。

初の試みの多かった雪まつりでしたが、大好評のうちに幕を閉じました。



ツチガエル

■スタッフコラム

このコーナーは、毎号違うスタッフが思い思いに書いていきます。今回の担当は、鈴木達也。

【いろは坂の歴史】

今回は、普段私たちが利用している、「いろは坂」の歴史について書きたいと思います。

「いろは坂」の起源は、日光開山の祖「勝道上人」^{しょうどうしやうにん}を慕った山岳修験者が開拓したものとされています。当時は「いろは坂」という名前ではなく、「中禅寺坂」と呼ばれていました。今では車で片道20～30分で通過できますが、『日光山志』という江戸時代の日光ガイドブックに「刃の上を渡るのあやふきに譬へ」とあるように、当時は相当に険しい道のりだったことがうかがえます。

明治20～25年の間に、「中禅寺坂」は整備され「新道」として生まれ変わり、人力車の通行可能なツヅラ折の道になりました。「いろは坂」という名前は、昭和7年に馬返から明智平にケーブルカーが開通し、そのガイドが昭和13年頃「イロハ48文字」にちなんで、この新道を「いろは坂」と言ったのが始まりと言われています。しかし、実際に48のカーブがあった訳では無く、数が多いという形容詞として「いろは」が使われたそうです。

時代は進み、昭和29年10月に全面改修され、当時としては全国で2番目の有料道路となり、この時に「いろは坂」は48のカーブになりました。さらに、昭和34年に整備されたときに、48カーブから30カーブになります。

それ以後、道も整備されたため交通量が増えてきました。それに対応するため、昭和40年に「第二いろは坂」が開通します。こうして現在のように、上りと下りが別々の「いろは坂」になり、今まで使っていた「いろは坂」は「第一いろは坂」と呼ばれるようになります。ちなみに「第二いろは坂」のカーブ数は20で、「第一いろは坂」のカーブ数の30を足すと50になってしまいます。「いろは坂」=48カーブを維持するために、わざわざ「第一いろは坂」のカーブ数を2つ減らして、28とし、合計で48になるようにしたそうです。さらに時代は進み、昭和59年には有料化は廃止されます。

奥日光は聖域とされていたため、明治5年頃までは、牛馬・女人禁制とされてきましたが、その名残が、「馬返」「女人堂」などとして残っています。また、「中ノ茶屋」は旧道時代の休憩所だった場所です。

みなさん、普段「いろは坂」を通るときは、何気なく車を走らせているだけではないですか? 「いろは坂」には長い歴史と、その遺産が今も残っています。これらの歴史や遺産に思いを馳せながら、ドライブを楽しむのも一興ではないでしょうか。

■環境省より

【戦場ヶ原柵内シカ捕獲結果】

昨年10月17、18日に、戦場ヶ原シカ侵入防止柵内でシカの生息数調査を行い、12頭の生息を確認しました。これを受け、3月12日に猟友会の協力のもと、銃器を使用した捕獲が行われ、4頭のオスジカが捕獲されました。平成18年より毎年、柵内で捕獲を行っており、柵内のシカの生息数は減少、植生の回復が期待されます。

【湯ノ湖歩道 冬季一部通行止めのお知らせ】

積雪期の湯ノ湖歩道は雪が深く、すべると湖に転落するおそれがあります。そのため、一部通行をご遠慮いただいております。通行止め区間の入口には看板とロープを設置しています。通行止めの解除は、積雪の状態を見ながら、ゴールデンウィーク前を予定しています。皆様のご理解とご協力を宜しくお願いします。

【戦場ヶ原歩道 冬季利用について】

積雪期の戦場ヶ原自然研究路の木道上は、雪や氷で非常にすべりやすくなっております。歩かれる際には、足下の装備をしっかりと、気をつけて下さい。また、木道が単線から複線になる箇所では、木道の踏み外しにご注意下さい（目印のため注意看板が設置してあります）。なお、木道から外れて湿原の上を歩くと雪が圧雪されて、植生に影響を及ぼすおそれがありますので、木道から外れないようご協力をお願いします。

■ビジターセンター館内情報

【展示物にキツネのはく製登場】



3月よりビジターセンター館内に新たな仲間（展示）が登場！それは、キツネのはく製。獲物のネズミを狙い定め、近づく姿をしています。以前まではスタッフ手作りのキツネのぬいぐるみでしたが、やはり本物のキツネは迫力が違います。睨まれているネズミのぬいぐるみも本当に脅えているかのように見えます…。

その光景を是非ビジターセンターでお確かめ下さい！

■森のギャラリー ～展示会のお知らせ～

ビジターセンター併設の無料休憩所では、昨年に引き続き今年度も写真展“森のギャラリー”が開催します。展示ご希望の方は、当センターまでお問合せ下さい。また、展示は期間中は自由にご覧いただけますので、お気軽に遊びにいらして下さい！休憩所としてもご利用できます。（開館時間 9：00～16：30）

	1日	5日	10日	15日	20日	25日	31日
5月							
6月		6月4日（月）	⇒	野生動物写真コンテスト	⇒	7月1日（日）	
7月							
8月		8月5日（日）	⇒	横澤 写真展	⇒	19日（日）	

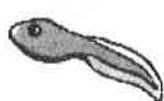
■歩道情報



卵

場 所	状 況	問合せ先
中禅寺湖一周	雪解けの木道は大変滑りやすいので、ご注意ください。尚、コースアウトは禁止されておりますので、ご協力をお願いします。	栃木県西環境森林事務所 環境企画課 【0288-21-1180】
小田代原～赤沼		
湯滝～泉門池		
小田代原 「正面展望台脇～デッキ型 木道間（約200 m）」	H23 台風等の増水の影響により木道の一部が不安定なため、当面の間、木道の一部通行止め。弓張峠経由の迂回路がありますので、そちらをご利用下さい。	
湯ノ湖一周	積雪のため、山側歩道と、道路側歩道の一部通行止めです。	日光自然環境事務所 【0288-54-1076】
男体山	H23. 10 / 25 ～ H24. 5 / 4 まで閉山	二荒山神社中宮祠 【0288-55-0017】
その他の山	最寄の警察署・ご家族・ご友人に登山届を提出し、十分ご注意の上、お出かけください。	栃木県警察本部地域部地域課 【0286-21-0110】

■交通情報



幼生

◆道路の開通予定◆

道 路	開通予定	問合せ先
中宮祠足尾線 (旧中禅寺湖スカイライン)	4 / 13 ~	栃木県日光土木事務所 【0288-53-1211】
金精道路	4 / 27 正午 ~	
山王林道 (奥鬼怒林道)	4 / 末 ~	栃木県西環境森林事務所 【0288-21-1178】

◆各種交通機関の営業期間◆

交通機関	営業予定	問合せ先
低公害バス	4 / 26 ~ 11 / 30	日光自然博物館 【0288-55-0880】
東武バス	夏季ダイヤになります 4 / 1 ~ 11 / 30	東武バス日光営業所 【0288-54-1138】
日光白根山ロープウェー	6 / 1 ~ 11 / 11	丸沼高原総合案内 【0278-58-2211】
中禅寺湖遊覧船	4 / 14 ~ 11 / 30	船の駅中禅寺 【0288-55-0360】

■各施設情報



成体

場所	営業予定	問合せ先
赤沼情報センター	4 / 26 ~ 11 / 30	日光自然博物館 【0288-55-0880】
イタリア大使館 別荘記念公園	4 / 1 ~ 11 / 30	イタリア大使館別荘記念公園 【0288-55-0388】 日光自然博物館 【0288-55-0880】
中禅寺湖湖畔ボートハウス	4 / 1 ~ 11 / 30	日光自然博物館 【0288-55-0880】
さかなと森の観察園	3 / 20 ~ 11 / 30	独立行政法人水産総合研究センター 増養殖研究所 日光舎 【0288-55-0055】
日光湯元レストハウス	4 / 1 ~ 11 / 30	日光湯元レストハウス 【0288-62-2156】
無料休憩所 (湯元)	4 月上旬 ~ 11 / 30	日光湯元ビジターセンター 【0288-62-2321】
足湯	4 / 16 ~ 12 月中旬	

■トイレ情報

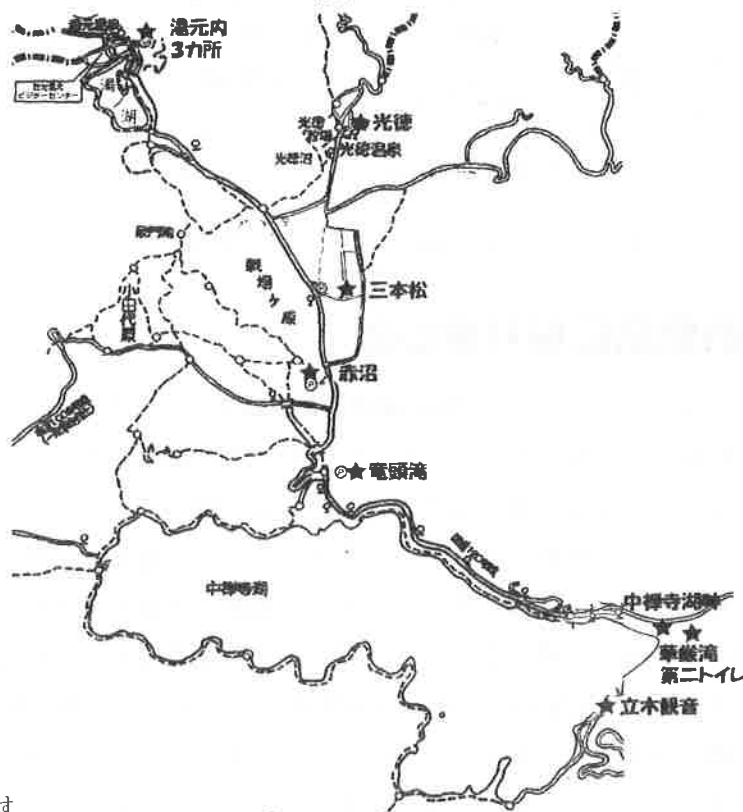
※奥日光では、冬の間、利用できないトイレがあります。

◆閉鎖解除時期◆

トイレ	閉鎖解除時期(予定)
二荒山神社東側	4/1～
西六番園地	
イタリア大使館	
赤沼情報センター	4/26～
小田代原	4/上旬
千手ヶ浜	
歌ヶ浜	
明智平	
華厳滝第一トイレ (自然博付近)	4/中旬
湯滝	
湯ノ湖畔	

※上記の日程は目安です。
雪の状況により変動します。

◆通年で開いているトイレ◆



■スキー情報

※雪の状況により、クローズ日に若干の変動があります。

スキー場	営業期間(予定)	問合せ先
丸沼高原	～5/6	丸沼高原総合案内 【0278-58-2211】

■キャンプ情報

キャンプ場	期間	問合せ先
湯元キャンプ場	5/中旬～10/31 ※営業開始に関しましては、炊事場水道の凍結が解消され次第となります。詳しくはホームページ等でお知らせします。またはお電話にてお問合せ下さい。	日光湯元ビジターセンター 【0288-62-2321】
菖蒲ヶ浜キャンプ場	5/1～10/30	奥日光林産興業(有) 【0288-55-0158】
菅沼キャンプ場	5/1～10/20	菅沼キャンプ村東京案内所 【03-3542-8441】 現 地 【0278-58-2958】
丸沼オートキャンプ場	6/23～7/8 ※土日のみ 7/14～9/2 ※毎日 9/3～10/16 ※土日祝のみ	シャレー丸沼 【0278-58-4300】

■つり情報

場所	期間	問合せ先
湯ノ湖、湯川	5/1～9/30 予定 ※変更される場合があります	全国内水面漁業協同組合連合会 湯ノ湖釣り事務所 【0288-62-2524】 日光支所 【0288-55-0702】

■日光の催し(4月～6月)

日付	催し物	時間	場所	問合せ先
4/1(日)	開山会	11:00～	日光山輪王寺 開山堂	日光山輪王寺 【0288-54-0531】
4/2(月)	強飯式	11:00～、14:00～	日光山輪王寺 三仏堂	
4/13(金) ～17(火)	弥生祭例祭	家体運行 16日 17日	日光二荒山神社	日光二荒山神社 【0288-54-0535】
5/5(土)	男体山開祭山	10:00～	二荒山神社中宮祠	二荒山神社中宮祠 【0288-55-0017】
5/17(木)	えんねん 延年の舞	8:00～	日光山輪王寺 三仏堂	日光山輪王寺

■お世話になりました

この度、3月31日で自然公園財団を退職することとなりました。

4年間という長い間、ビジターセンターでの業務をさせていただきましたが、情報を発信する大切さ、人とのつながり、国立公園の有り方、国立公園の利用、そしてイベントや依頼ガイド、たくさんを感じ、たくさんを体験させていただきました。どれも私には無くてはならないものであり、どれを無くしてもいまの私は無かったと強く感じています。感謝の気持ちを素直に伝えられるようになったのも、4年間という長い間、奥日光で生活できたのも、ひとえに皆様の暖かなご声援のおかげです。

4月からは、実家のある神奈川県相模原市で新しい仕事に就くことになっております。

皆様のお顔を見られなくなるのは寂しい限りではございますが、自己を成長させたい一心で頑張っていこうと考えています。今まで、本当にありがとうございました。また、どこかでお会いできる日を楽しみにしています。

【ビジター班：平澤香世】



ヤマアカガエル

今回のイラストは、奥日光に生息するカエルをご紹介しました！
表紙のアズマヒキガエル以外にも色んなカエルたちがいるのです！



■前号の訂正とお詫び

●表紙「キレンジャクとヒレンジャク」

誤：ヒレンジャク「翼の羽の先端に赤いロウ状の物質がついている」

正：ヒレンジャク「羽先が赤い」 ※ヒレンジャクには赤いロウ状の物質はついていない

キレンジャク「翼に白斑が2カ所 羽の先端に赤いロウ状の物質がついている」

次号は
5月下旬
発行予定です

■編集長より

昨年の楓通信 92号から一年間、編集長を担当させて頂きましたが、4月よりビジター班からシカ班へと業務が変わるため、今号で編集長の任を降りることとなりました。次号からは石井綾が編集長となります。班が変わっても、奥日光の自然の素晴らしさや面白さを伝えていきたいと思っています。(古川)



おはよう!

ぶらり大発見!!



普段よりも「ちよつと早起き」して湯元の自然を感じてみませんか?

自然の中の色々な生き物に出会ったり、新しい発見がみつかるかも!

期間:平成24年5月3日(木)~6日(日)

時間:6:30~7:30まで

集合場所:日光湯元ビジターセンター前

場所:湯元内(日によってルートは異なります。)

※湯ノ湖を回るイベントではありません。

料金:無料

定員:30名(先着順/予約不要)

※雨天中止(小雨決行)

※ペットを連れてのご参加はご遠慮ください

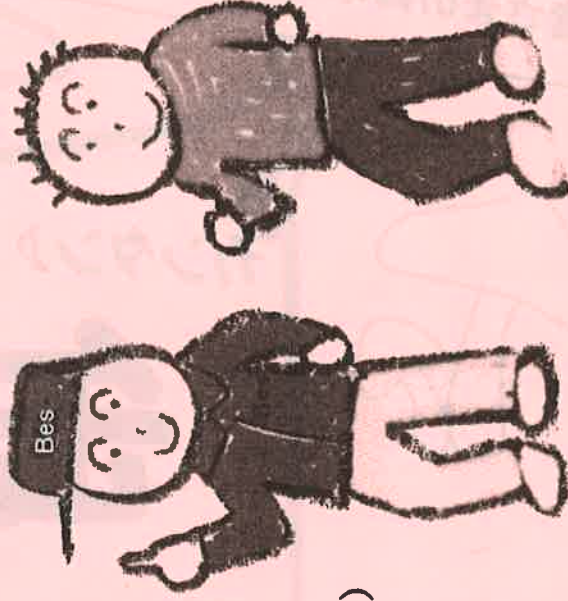
※団体でご参加される場合は事前にご相談ください

お問合せは...

環境省 日光湯元ビジターセンター

管理者:一般財団法人自然公園財団日光支部

TEL:0288-62-2321 FAX:0288-62-2378



5月もやります!

3日(木)

4日(金)

5日(土)

6日(日)

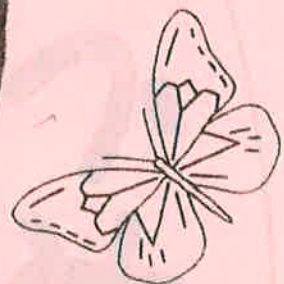


誰でもカンタンに作れる手作りランタン。
奥日光に来た記念に作ってみませんか?
皆さまの御来館をお待ちしております。

事前予約不要



カンタン♪



缶ドル ランタン 作り



期間:平成24年5月3日(木)~6日(日)

時間:(午前)9:30~11:30 (午後)13:30~16:00

場所:日光湯元ビジターセンター

料金:ひとつ200円

※材料がなくなり次第終了とさせていただきます。

あらかじめご了承ください。

お問合せは...

環境省 日光湯元ビジターセンター

管理者:一般財団法人自然公園財団日光支部

TEL:0288-62-2321 FAX:0288-62-2378

中禅寺湖ゆったり ツツジハイク

極寒の冬を越え、5月、色とりどりの花、そして新緑が奥日光中禅寺湖兩岸を飾ります。
ゆったりした自然の中で、ゆっくり歩き、春の訪れを感じてみませんか？

日 時：平成24年5月19日(土) 9:30～15:30 (9:00より受付開始です)

集 合：立木観音前 歌ヶ浜無料駐車場

場 所：歌ヶ浜～イタリア大使館別荘～^{おしひくほ}狸窪～^{あぜがた}阿世瀧の往復

募集人数：15名(先着順/小・中学生は保護者同伴)

参 加 費：大人 ¥1,000 小・中学生 ¥500

服 装：長袖・長ズボン・帽子・歩きやすい靴

持 ち 物：お弁当・おやつ・水筒・敷物・レインウェア等の雨具・その他各自必要なもの

※お申込み頂いた方には後日詳しい要項をお送り致します。
※荒天中止です。中止の場合、事前にご連絡さしあげます。
※お申込み後キャンセルを希望される方はお早目にご連絡下さい。

お問合せ・お申込みは…

環境省 日光湯元ビジターセンター

管理者：一般財団法人自然公園財団日光支部 (担当：石井綾)

TEL：0288-62-2321 FAX：0288-62-2378

お申込みは、電話・FAXにて次の事項を上記までお知らせ下さい。

(平成24年4月14日(土)より受付開始です)

- ①イベント名 ②氏名 ③年齢 ④性別 ⑤住所(郵便番号から) ⑥電話番号
⑦前日の連絡先 ⑧前・後泊の有無 ⑨集合場所までの交通手段 ⑩この催しを何でお知りになったか

緑あふれる



刈込湖へ

新緑の匂いを味わおう

すがすがしい空気の中

少し厳しい道を

皆で歩いてみませんか？



日時：平成 24 年 6 月 16 日（土）9：30～15：00（9：00 より受付開始）

集合場所：日光湯元ビジターセンター

募集：15 名（先着順）

対象：小学 4 年生以上の健脚な方（小・中学生は保護者同伴）

参加費：大人 1000 円 小・中学生 500 円

服装：長袖・長ズボン・登山靴・帽子

コース：ビジターセンターから刈込湖までの往復を予定

持ち物：昼食・水筒・雨具・タオル・行動食・他各自必要な物

※雨天中止です。中止の場合には前日に中止の連絡を差し上げます。

※当日の状況により、スケジュールを変更する場合がございますのでご了承下さい。

※予約のキャンセルをされる場合には、お早めにご連絡下さい。

※お申込みいただいた方には、後日詳しい要項をお送りいたします。

お問合せ・お申込みは・・・

環境省 日光湯元ビジターセンター

管理者：一般財団法人自然公園財団日光支部（担当：熊谷）

TEL：0288-62-2321 FAX：0288-62-2378

お申込みは、電話・FAX にて次の事項を上記までお知らせ下さい。

（平成 24 年 4 月 14 日（土）より受付開始）

- ①イベント名②氏名③年齢④性別⑤住所⑥電話番号（当日連絡がつく連絡先）⑦集合先までの交通手段
⑧この催しを何でお知りになったか⑨前・後泊の有無⑩前日の連絡先（中止の際の連絡に使わせて頂きます）

白根山花紀行

～シラネアオイを探しに～

日本固有種の花として初夏になると綺麗な花を咲かせるシラネアオイ。数は昔と比べて少なくなってしまうものの、今でも白根山のある場所にひっそりと存在しています。そんなシラネアオイを見つければ、今年の初夏は白根山へ行ってみませんか？

日時：平成 24 年 6 月 30 日(土) 7:30～15:30 (7:00 より受付開始)

集合場所：日光湯元ビジターセンター(ビジターセンター集合後、車数台に分乗して菅沼登山口に移動します)

※直接菅沼にて集合を希望される方はイベント申込時にご相談下さい。

募集：12 名(先着順)

対象：小学 5 年生以上の健脚な方(小・中学生は保護者同伴)

参加費：大人 1000 円 小・中学生 500 円

コース：ビジターセンター…(車)…菅沼登山口～(徒歩)～五色沼～シラネアオイ群生地(の往復を予定)

服装：長袖・長ズボン・帽子・軽登山靴

持ち物：昼食・飲み物・雨具・タオル・防寒具・行動食・他各自必要な物

※雨天中止です。中止の場合には前日にご連絡差し上げます。

※当日の状況により、スケジュールを変更する場合がございますのでご了承下さい。

※予約のキャンセルをされる場合には、お早めにご連絡下さい。

※お申込みいただいた方には、後日詳しい要項をお送りいたします。



お問合せ・お申込みは・・・

環境省 日光湯元ビジターセンター

管理者：一般財団法人自然公園財団日光支部 (担当：辻岡)

TEL：0288-62-2321 FAX：0288-62-2378

お申込みは、電話・FAX にて次の事項を上記までお知らせ下さい

(平成 24 年 4 月 14 日 (土) より受付開始です)

①イベント名②氏名③年齢④性別⑤住所⑥電話番号 (当日連絡がつく連絡先)

⑦集合先までの交通手段⑧この催しを何でお知りになったか⑨前・後泊の有無
⑩前日の連絡先 (中止の際のご連絡に使用させて頂きます)